

ふるさと宮崎応援寄附金 令和4年度活用状況の御報告



宮崎県知事
河野 俊嗣

「生まれ育った宮崎県に恩返ししたい」、「宮崎県が大好きだから応援したい」という思いを寄附金という形にあらわしたものが、ふるさと宮崎応援寄附金です。この度は、宮崎県へのふるさと納税を通じて、温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

今回、令和4年度にいただいた寄附金の受入・活用状況をご報告いたします。

皆様からのご寄附は、宮崎県の総合計画に基づく5つの重点プログラムにおける、県が推進する様々な事業に活用させていただいております。

今後とも、皆様に「ふるさと」として応援していただけるような魅力ある宮崎県づくりに邁進してまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



令和4年度 寄附金の受入状況

寄附総額 102,687 千円 (4,473 件)

使途（分野を指定）	金額（千円）
1. 人口問題対応プログラム	28,487 千円
2. 産業成長・経済活性化プログラム	10,423 千円
3. 観光・スポーツ・文化振興プログラム	8,833 千円
4. 生涯健康・活躍社会プログラム	4,449 千円
5. 危機管理強化プログラム	31,579 千円
6. 分野を指定しない	18,916 千円

令和4年度 寄附金の活用状況

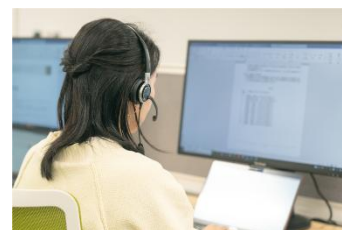
皆様からの寄附金は、選択いただいた分野ごとに宮崎県が推進する事業全体に活用しています。
いただいた寄附金を活用して令和4年度に実施した事業の一部をご紹介します。

1. 人口問題対応プログラム 【活用額 34,920 千円】

『重点項目』社会減の抑制と移住・U・I・J ターンの促進/産学金労官言の連携による地域や産業を支える人財の育成・確保/地域の暮らしの確保や中山間地域の振興/本県の未来を担う子どもたちの育成/合計特殊出生率の向上に向けた環境づくり

■みやざきの子どもを守る総合支援事業（活用額 20,892 千円）

公立学校における生徒指導上の様々な課題に対応するために、スクールカウンセラー等の専門家の配置・派遣を拡充し、電話相談窓口とあわせて教育相談体制を充実させるとともに、いじめ問題に係る支援体制整備といじめの未然防止の取組の充実を図りました。



電話相談員による相談の様子

■未来へつなぐ建設産業担い手確保・育成支援事業（活用額 6,017 千円）

建設産業の深刻な担い手不足に対応するため、建設企業の働き方改革・生産性向上への支援や産業の魅力発信など、担い手確保・育成に資する取組を産学官連携のもと、総合的に展開し、本県建設産業の持続的発展につなげる取組を行いました。

他9事業（活用額 8,011 千円）

2. 産業成長・経済活性化プログラム 【活用額 12,777 千円】

『重点項目』本県経済をけん引する成長産業の育成と新産業の創出/本県の基幹産業である農林水産業の成長産業化/地域経済を支える企業・産業の育成/資源・エネルギーの循環促進と低炭素社会の実現に向けた取組/交通・物流ネットワークの整備と効率化の推進

■県産牛肉販売促進総合対策事業（活用額 2,389 千円）

宮崎牛をはじめとする県産牛肉の販路拡大のため、第12回全国和牛能力共進会を契機とした、集中的な宮崎牛のPRと継続的なプロモーションを実施するとともに、科学的根拠を持ったおいしさや脂肪の質等の新たな価値を付加することで、国内外における更なるブランディングの強化を図りました。



大相撲優勝力士への宮崎牛贈呈

■地域産業技術開発促進・新事業創出推進事業（活用額 1,707 千円）

県内企業が持つ技術の特長を最大限に活かした新規事業の創出を推進するため、技術に基づく事業戦略策定や新製品の研究開発等を支援しました。

他 17 事業（活用額 8,681 千円）

3. 観光・スポーツ・文化振興プログラム【活用額 10,828 千円】

『重点項目』魅力ある観光地づくりと誘客強化/「スポーツランドみやざき」の構築と県民のスポーツ活動・交流の促進/文化資源を生かした地域活性化や県民の文化活動・交流の促進

■天皇杯獲得を目指した競技力向上対策（活用額 7,114 千円）

令和9年度に本県で開催予定の「第81回国民スポーツ大会」において天皇杯獲得を目指すとともに、大会終了後も安定した競技力を維持し、スポーツランドみやざきの展開などスポーツを核とした地域振興を図るため、効果的な競技力向上対策に取り組みました。



水球プールの整備

■県民総参加！ひなたプロモーション事業（活用額 2,148 千円）

本県の多様な魅力の統一的なコンセプトである「日本のひなた宮崎県」を用い、県民からの声も積極的に取り入れながら、観光や食、スポーツ、特産品、歴史・文化、生活環境といった本県の様々な魅力を発信しました。

他 4 事業（活用額 1,566 千円）

4. 生涯健康・活躍社会プログラム【活用額 5,454 千円】

『重点項目』地域における福祉・医療の充実と健康寿命の延伸/生きる喜びを実感し、安心して暮らせる社会づくり/一人ひとりが活躍できる多様性を持った社会づくり

■里親が育て、社会が支える！里親委託総合推進事業（活用額 1,523 千円）

様々な事情により保護者の元で生活することができない児童が、里親等の家庭的な環境で養育を受けられるよう、官民一体となった支援体制を構築し、里親委託の促進を図りました。



■宮崎県人会世界大会開催準備事業（活用額 1,248 千円）

置県140年となる令和5年（2023年）に開催する「宮崎県人会世界大会」に向けて、実務者会議・実行委員会の開催等を通じた具体的な実施計画の検討や、大会のPR・広報活動による機運醸成、国内外の県人会との関係強化など必要な準備を行いました。



ひなた県人会国内サミット

他5事業（活用額 2,683 千円）

5. 危機管理強化プログラム 【活用額 38,710 千円】

『重点項目』ソフト・ハード両面からの防災・減災対策/緊急輸送や救急医療の観点による社会資本整備と適正な維持管理/人の感染に対する感染予防・流行対策強化/家畜伝染病に対する防疫体制の強化

■PCR 検査体制等強化事業（活用額 38,710 千円）

新型コロナの感染拡大を防止するため、受診・相談センターの運営とともに、地域外来・検査センターの運営やPCR検査機器の購入補助等、検査体制の充実を図りました。（濃厚接触者の健康調査、PCR 行政検査、地域外来・検査センター運営費、PCR 検査機器の購入補助）



抗原定性検査キット



皆様のご寄附に心より感謝を申し上げます。

